

第25期役員、議員が決定！

11月4日に開催された第187回臨時議員総会において、副会頭の山本亜也夫氏を会頭に選任。副会頭には大辻利紀氏を再任、新たに瀧川松平氏、前川真一郎氏を選任し、新体制が始動します！



瀧川副会頭 大辻副会頭 山本会頭 前川副会頭

- ①最近ハマっていること（マイブーム）はありますか？」
- ②「好きな言葉や座右の銘があれば教えてください」
- ③「正副会頭として一言」

新議員です、よろしくお願ひします！

- ①「加古川でお気に入りのモノ・場所、その理由について」、②「新議員として一言」



（株）マルアイ
執行役員 総務人事部長
井上 勇一
①社会人の第一歩は加古川市からスタート。加古川河川敷の上を車中から「マイシティ加古川」と叫んで37年。

懐かしい思い出を描きながら、今や人生の大半を隣接する町から通勤しています。
②地域経済の発展と地域課題解決への取り組みに貢献していくことが使命ではないかと思っています。微力ながら尽力してまいります。



ハマダコンフェクト（株）
代表取締役社長 岡屋 英二
①野天風呂「あかねの湯」。皆さんにご愛顧頂いている「あかねの湯」、ハマダが経営・運営させて頂いています。疲労回復にリフレッシュ、ご家族皆さんでご利用ください。

②2026年12月竣工を目指し、加古川第二工場を着工しました。「栄養菓子」を加古川の地から全国へ。事業拡大して参ります。



（株）兵庫製作所
代表取締役社長 門田 成悟
①先日、妻、犬と登った「高御位山」がお気に入りの場所になりました。
加古川から播磨灘まで一望できる素晴らしい景色に心が洗われました。

②議員の一人として活動できることを光栄に思います。地域の発展に少しでも寄与できるよう、尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。



株宮宅建設
代表取締役 宮宅 勇二
①加古川の左岸の土手の道路を車で夕刻に帰るとき、おだやかなカーブを描いて流れる加古川のはるか彼方を真っ赤な大きな夕日が落ちていきます。それはそれは素晴らしい自然の光景です。体の隅々まで感動が伝わる気がしました。特に秋が美しいです。
②鶴林寺のある加古川で、子どもたちが誇りをもって生きていくために、聖徳太子の教えを取り入れた教育を目指せないだろうか。それがゆくゆくは経済発展にも繋がればと期待します。

会頭 山本 亜也夫（株）フジヤ号 代表取締役社長 新任

- ①サウナにはまっています。サウナで汗をかいた後の水風呂がたまりません。それを3回繰り返したら体も頭もすっきりリフレッシュ。今後は、加古川のあかねの湯を皮切りに、サウナ自慢の銭湯・お宿めぐりをしてみたいです。
- ②好きな言葉は「はい、よろこんで！」成長を願って仕事を依頼し、気持ちよく引き受け、経験を積んでいく。そのような信頼で結ばれたメンバーがいる組織が成果を出し続けるのだと思います。
- ③釜谷前会頭を引き継ぎ、「MAKE KAKOGAWA GREAT AGAIN」をスローガンに、3名の副会頭、そして専務をはじめ職員の皆さんと一丸となって加古川の商工業発展に寄与していきたいと思います。会員企業の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

副会頭 大辻 利紀（株）カノコ 代表取締役 再任

- ①兵庫県内の銭湯巡りを家族と一緒にに行って、その場所の料理を堪能しています。
- ②「陰徳あれば陽報あり」「人に知られずひそかによいことを行えば、必ずよい報いを受ける」という、古代中国の『淮南子』からの一節です。
- ③名誉ある副会頭を再任いただいたことに感謝申し上げます。山本新会頭のもと、商業・サービス業担当副会頭として、地場産業の振興を目的に、「ふるさと納税返礼品」としての特産品の開発・改良に取り組み、地域資源の価値を高めてまいります。また、商工ビル内の環境整備を推進し、地域商業の中核拠点としての機能を強化することで、加古川の商業・サービス業がより活気あるものとなるよう努めてまいります。

副会頭 前川 真一郎（前川建設株）専務取締役 新任

- ①ここ最近はすっかりテレビを見なくなり、もっぱらYouTubeばかり見ておりました。ところがご縁があり、サンテレビにCMを出すことになってから、甲子園の一体感あふれる応援の素晴らしさに感動し、夫婦で阪神戦の観戦にすっかりハマってしまいました。（ちなみに、もともとは巨人ファンでした…笑）
- ②座右の銘というほどではありませんが、「人間万事塞翁が馬」、「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」「自利利他」この3つが好きな言葉です。
- ③山本会頭は、青年会議所時代から尊敬している先輩であり、「はい！よろこんで」をモットーとされる会頭に頼まれたら、二つ返事でお引き受けするしかございませんでした。少子高齢化が進む中、人手不足がますます深刻化し、外国人労働者なしでは社会は成り立たなくなりつつあります。そのような状況の中、地方都市はいかに生き残っていくのか、そして日本らしさや日本文化をどう守り続けていくのか、そんなことを漠然と考える今日この頃。とはいって、まずは一つひとつ勉強しながら、山本会頭の足を引っ張ることのないよう、少しでもお役に立てるように、「働いて働いて働いて働いて働いてまいります！」